

第1回 JR笠岡駅南北連絡施設等整備検討委員会 議事録

日 時：平成30年9月5日（水） 15時00分～17時00分

場 所：笠岡市役所 3階 第4会議室

参加者：委員（全委員出席 8名）
：事務局

配布資料：次第，配席図，委嘱状，資料 No. 1～No. 3，資料参考

会議次第：

1. 開会
2. あいさつ
3. 委員長の選出について
4. JR 笠岡駅南北連絡施設等整備検討委員会の設立について
5. 議事
 - 1) 現状と課題について
 - 2) 駅周辺の整備方針案について
 - 3) 整備イメージ素案について
6. その他
7. 閉会

【会議要旨】

1. 開会
委嘱状交付
2. あいさつ，会議資料の確認
あいさつ
会議資料の確認
3. 委員長及び副委員長の選出について
委員長就任
4. JR 笠岡駅南北連絡施設等整備検討委員会の設立について
設立要綱，設立主旨について説明。

5. 議事

○議事 「1) 現状と課題」, 「2) 駅周辺の整備方針案」について

事務局より「1) 現状と課題」, 「2) 課題に対する対応策」について説明。

(主な意見)

- ・素案を公表して市民の方から意見を聞くことが可能であればぜひ実施して頂きたいと思う。
- ・検討委員会の内容は、どのパターンで整備するかなどの検討を進めるのか、委員会としてどのような提言を求められているのか。
→笠岡市がまちづくりの検討を進めるための整備方針案を検討し、委員の皆様からご意見を頂くものである。委員会等で意見を聞き、利便性等を考慮しつつ検討する。
また、笠岡市の身の丈に合った施設整備を検討する必要がある。
- ・北口広場の課題について「ピーク時には広場外での一般車の乗降や渋滞が見られる」としているが、混雑するピークの時間帯と駅前広場や周辺道路などの詳しい状況を教えていただきたい。
→別の業務で、9月下旬から10月上旬に平日・休日の朝7時台、夕方18時台の交通量調査を実施予定なので、次回以降の委員会で結果をお示ししたい。
- ・雨の日の福山駅は、学生がバースからはみ出してバス会社の方が交通整理を行っているような状況であるが、雨の日の笠岡駅前広場どのような状況か。
→北側が混雑するので、南側の地下道の出口付近の道路上での停車も見られる。多くの車で混雑しているところに、学生など駅利用者が乗降などする状況は危険だと感じている。
- ・整備する必要があるかということは、とても重要なことである。整備にはかなり費用もかかるので、なぜ整備するか整備の必要性を皆が納得し理解する必要がある。
例えば、南側に駅前広場ができたならバスも南北で分けることができ、駅にアクセスする乗用車も北だけでなく南にも入れるので、混雑が緩和される。さらに、高校は比較的北の方にあるので、高校生の通学と車の行き来の安全性も担保される。
- ・現状では、すべてのバス路線が駅北側の広場で乗降しており、南側を走る路線は不便であり、南側にも広場ができると利便性が上がると思う。南口ができると病院、港などの利便性が上がると思う。
- ・県道笠岡井原線はいつも混雑していて、駅北側から線路を跨いで国道2号に出るには何回か信号待ちになる。駅南側からの送迎などの車も県道を通ることになると思われるが、実際の状況はどうか。
→ラッシュ時間は特に混雑する。昼間でも天候に左右され、特に雨の日は交通量も増え、速度も落ちるので混雑する確率が高くなる。

- ・時間貸し駐車場が不足しているとは感じるが、客観的なデータが必要である。不足しているかどうかは、利用者が判断することだと思うが、アンケート調査や市民の声など参考になるデータはあるか。
→別事業の調査で時間貸し駐車場の利用実態についても調査するので、次回以降の委員会で結果をご報告したい。

○議事 3) 整備イメージ素案について

事務局から説明。

(主な意見)

- ・自由通路ができた場合、エスカレーターは設置するのか。また、自転車は自由通路を通行することができるか。
→エスカレーターの設置はこれからの検討事項であるが、エレベーターを大きいものにすれば自転車の通行も可能である。
- ・自転車アクセスについても考えてみてください。
- ・バス乗降場を設置するにはある程度の広さが必要だと思うが、南口広場の場所はとれるか。
→バスについては、バスが回転できるほどの回転広場を設けられるかどうか工夫が必要であるが、バスの分散は検討したい。
- ・自由通路を整備する予定になっているが、地下道をバリアフリー化に向けて修繕するという方向にはならないか。
→現在の地下道は12%の勾配があり、それを5%まで勾配を緩くすることは難しい。
エレベーターの設置によるバリアフリー化が考えられるが、地下にエレベーター設置となると莫大な費用を要し、構造的にも検討が必要である。
- ・駅とまちづくりはセットであるため、事例としては駅だけでなくそのまちの状況を含めて示すのが良いのではないか。自由通路の位置はまちと関係して決まり、多額の費用も掛かるので、本当に必要があるのかどうか、まちづくりにおける必要性や賑わいなどの観点も含めて議論すると良い。
- ・地下道ができる前は、歩行者のみが通行できる踏切があり商店街を通るルートであったが、地下道整備後は、商店街への人の流れが変わったように感じる。自由通路の整備によって、商店街周辺の通行量が少なくなり、賑わいがなくなることを懸念する。
- ・交通量の流れ、歩行者の人数、自転車やバイクの数が知りたい。北口、地下道、南口について現時点での交通量と駐車場の利用状況、歩行者の動き方等々、動線上の交通量をもっと詳しく調べていただきたい。
→次年度以降、もっと具体的に整備を進める段階で調査していく。